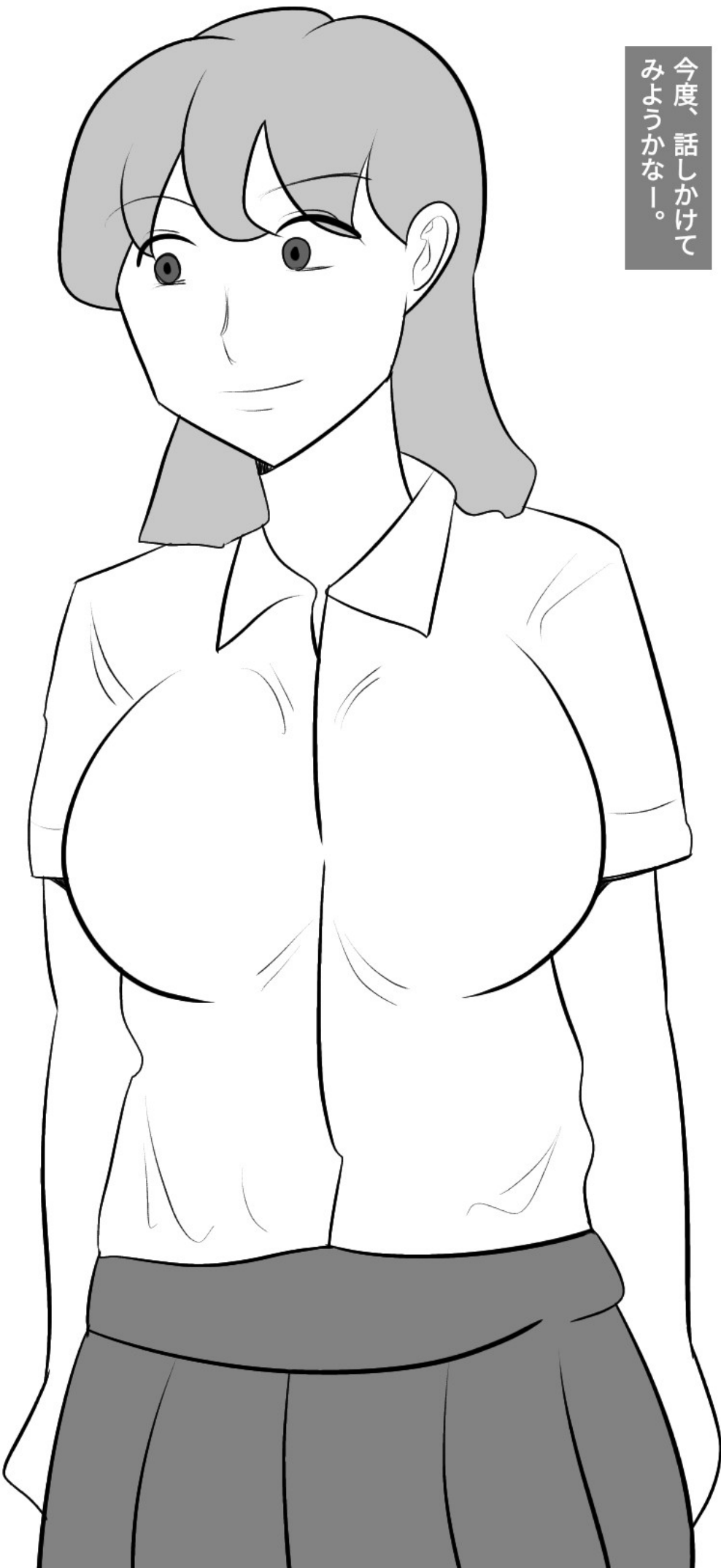


ああ、あの子可愛いなー。
あんな子が彼女だったら、
いいのになー。

今度、話しかけて
みようかなー。





ねえ、ミユキちゃん…。
ちよつと話が
あるんだけどさ！。

ちよつ…何すんのよ…。

急に触らないでよっ…。

あー、あんた、
いつも教室の隅で
一人でいる暗いやつじゃん。

あんたなんかと
話してる暇ないから。

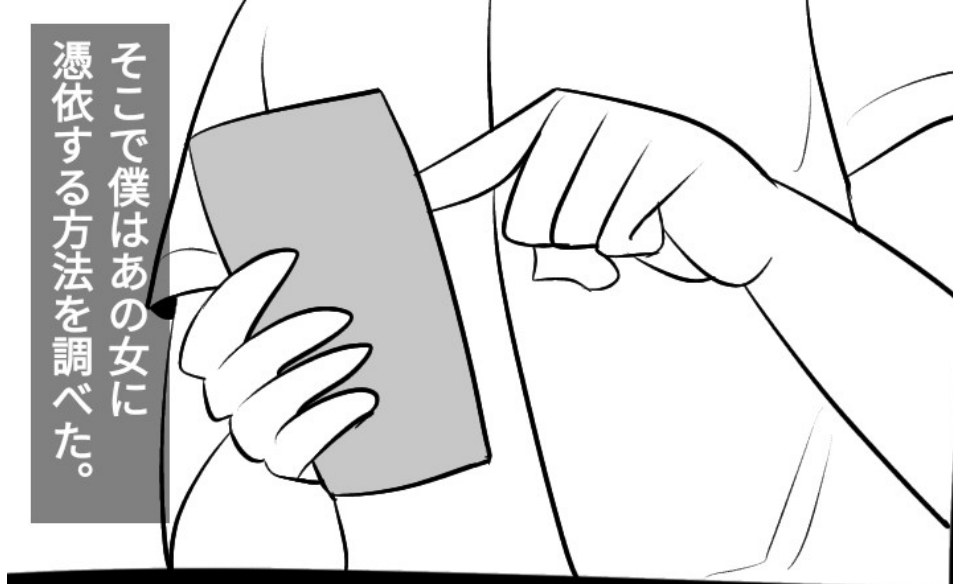
キモいから、
もう話しかけないでよ。

ああ…。そんなひどい事
言わなくてもいいじゃん…。





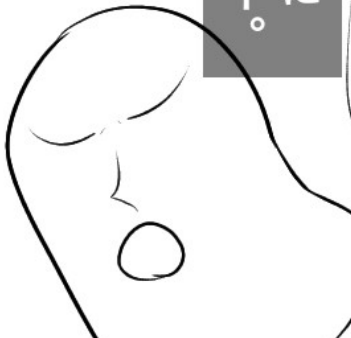
くそっ…あの女！



そこで僕はあの女に
憑依する方法を調べた。



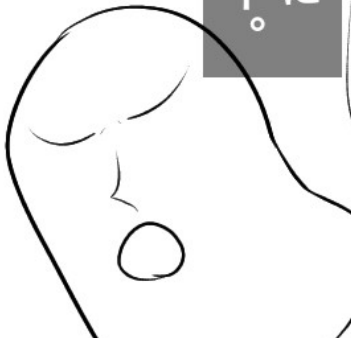
そして、なんとか
それっぽい方法を見
つけることに成功。



私の魂をあの女に
憑依させたまえー！



そしたら、魂を
体から出すことに成功した。



うお、すげえ…。
俺、体から抜け出した…。



お、いたいた。
憑依してやるぞー。



口から入るぞー。

おっ、すげえ。
本当に憑依できた。
なんか変な感覚だ…。



はっ



うお。まじかー。
すげえ。これが女の体かー。
スカートめくっちゃった…。
エロい…。お尻がプrippりだ…。



うおおお…。興奮する…。
これ、俺の自由に
していいんだ…。
こんなことしても、
怒られないんだ…。



この女、そういえば
すごい巨乳なんだよな…。

あっ…すげえ…。
めっちゃふわふわしてる…。
すげえ…女の体って
こんなに柔らかいんだ…。

はあっ…すげえ…。
女の体になって、
自分のおっぱい揉んでるの…
なんか不思議な感覚だ…
すごく気持ちいい…。



あんなに俺にブチギレてて
怖いやつだなーって思ったけど…
あいつも女なんだなー。



あっ…きもちっ…。
乳首気持ちいいっ…。
女の体ってこんなに
気持ちいいのかー。

もう乳首ビンビンだわー。



よし。
裸も拝んでやるかー。

うお、すげえ。
あいつ、あんなに
可愛げない性格だったけど、
ボンキュッボンだねえ。

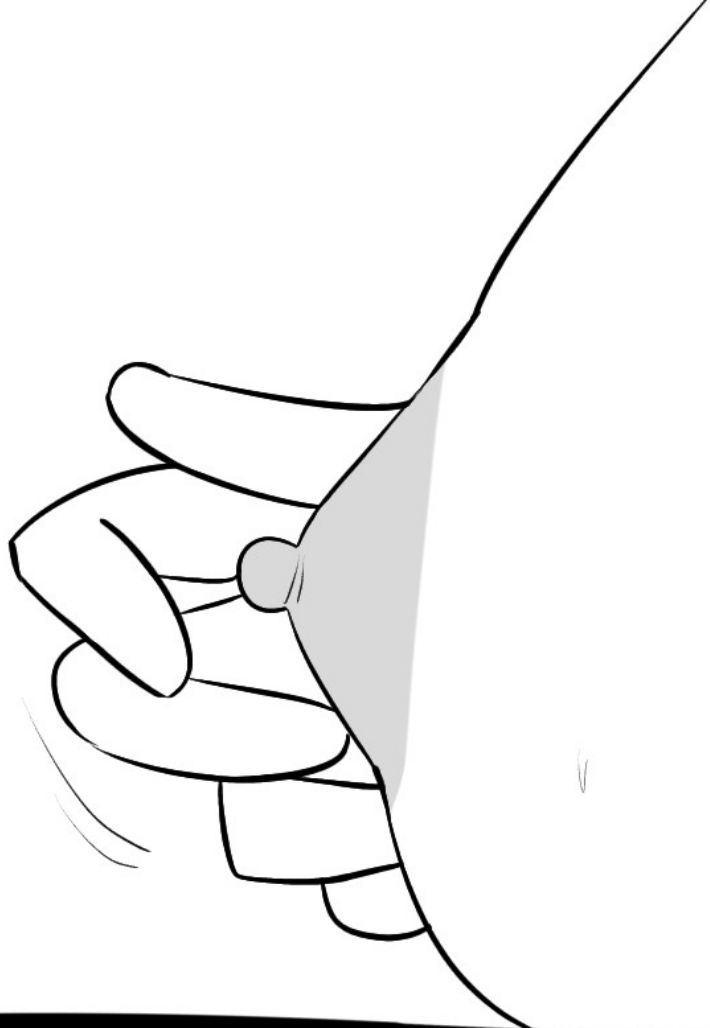
こりゃ、上玉だぜ。





うお、う、すげえ。
おっぱいでけえ。
乳首丸見えじゃん。
マン毛、もっさもさだ。

えへへへ。
この体、俺の好きに
していいんだ。



よーし、色々と試していくぞー。
女の乳首って直に触ると
どんだけ気持ちいいんだ…？

ビ
ク
ッ



あっ……すげえ…。



あっ…すごいっ…女の体って
こんなに気持ちいいんだ…。
すげえわこれ…
男のオナニーとまた違う感じの
気持ちよさだわ。

あっあっあっ…
きもちっ…。
やべえ…ハマっちゃう…。





ここ触ったら、
どうなっちゃうんだ…？
まんこって、どのくらい
気持ちいいんだろう…。

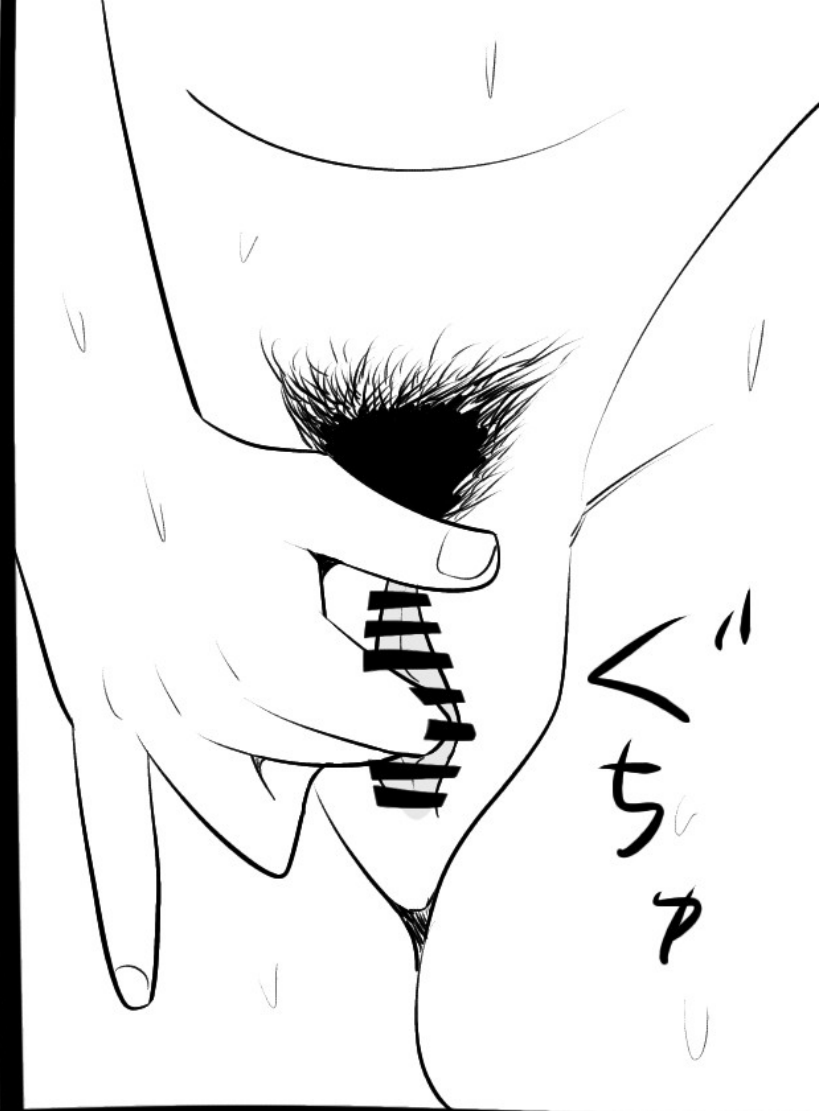


それじゃあ、
触ってみるか…。

あっ…やべえわ。これ。
女ってこんなの股間に
ついてるのかよ。

こんなのついてたら、
毎日触っちゃうわ。
めっちゃぐちゃぐちゃしてる。
もしかしたら、ちんこよりも
気持ちいいかもな。





あっ…やべえっ…なんか来る…。
すげえっ…めっちゃ出てる…。

わあ、すげえ。
めっちゃびちよびちだよ。
女の体ってこんな感じなのか。
頭真っ白になったよ。
めっちゃ気持ちよかった…。





はあ…
今日は疲れたな。
また今度だ。

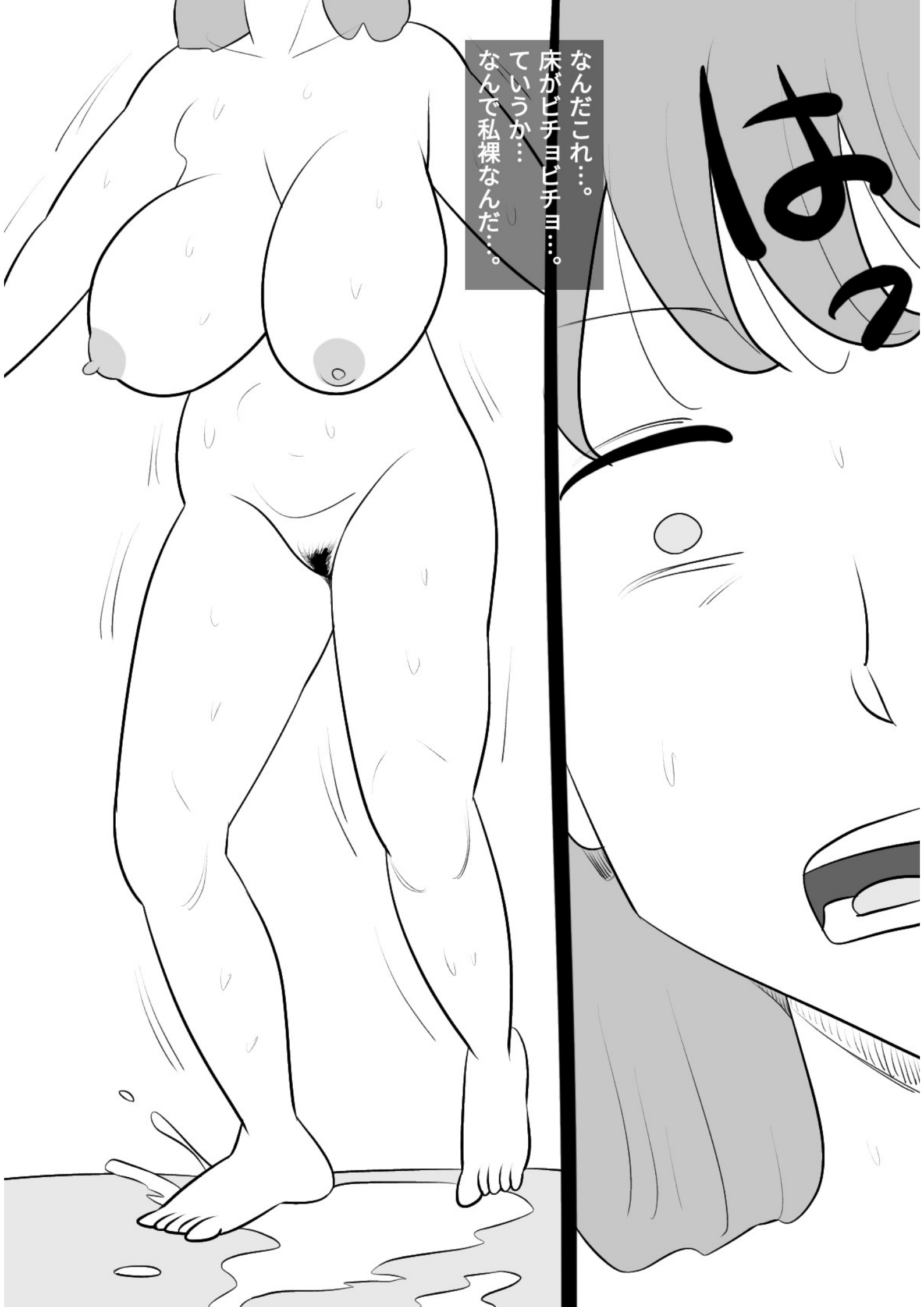
ぽ

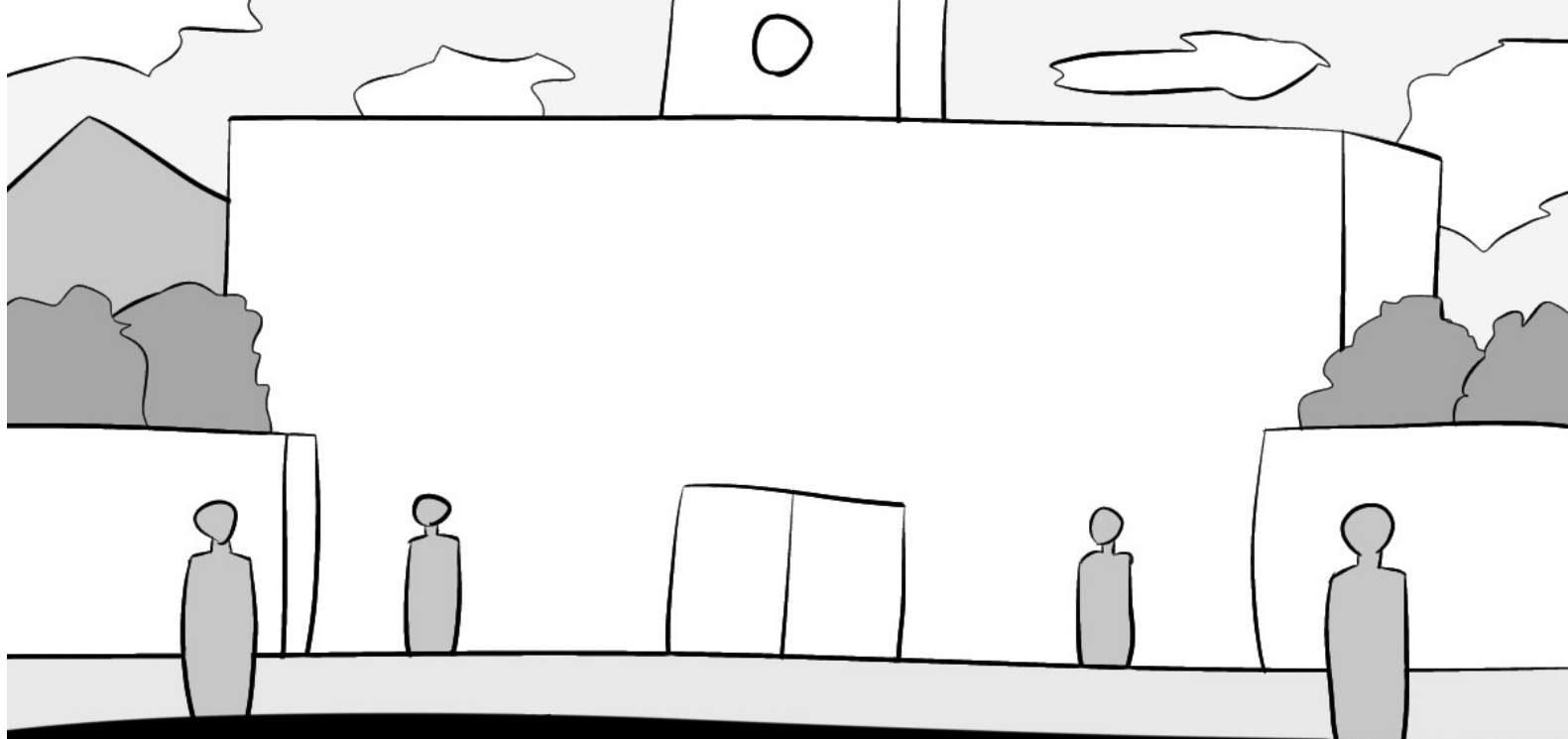


は



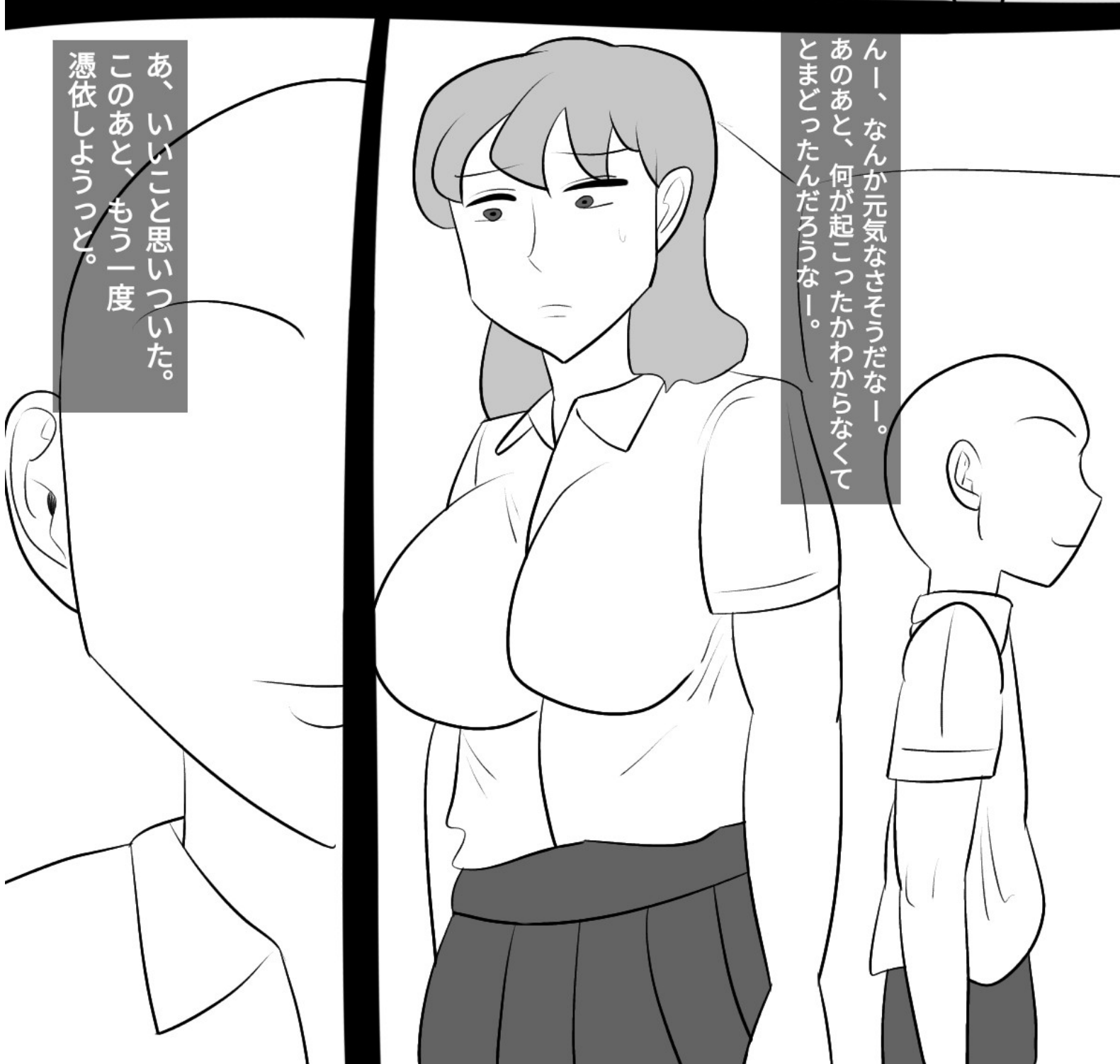
えっ…なんだ…。
私…何してたんだっけ？
眠ってたんだっけ？
記憶が飛んでるような…。

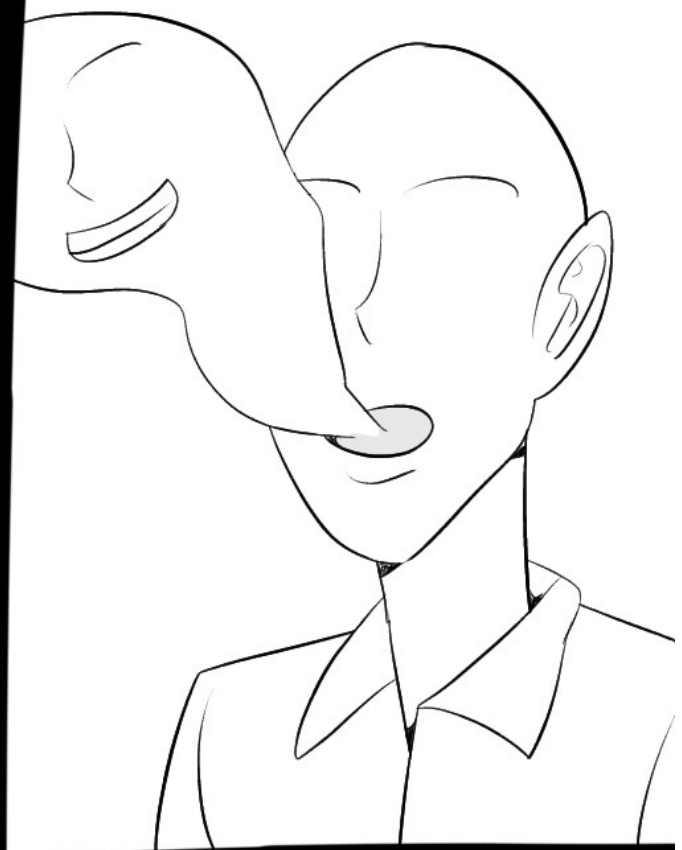




んー、なんか元気なさそうだなー。
あのあと、何が起こったかわからなくて
とまどったんだろーな！。

あ、いいこと思いついた。
このあと、もう一度
憑依しようっと。





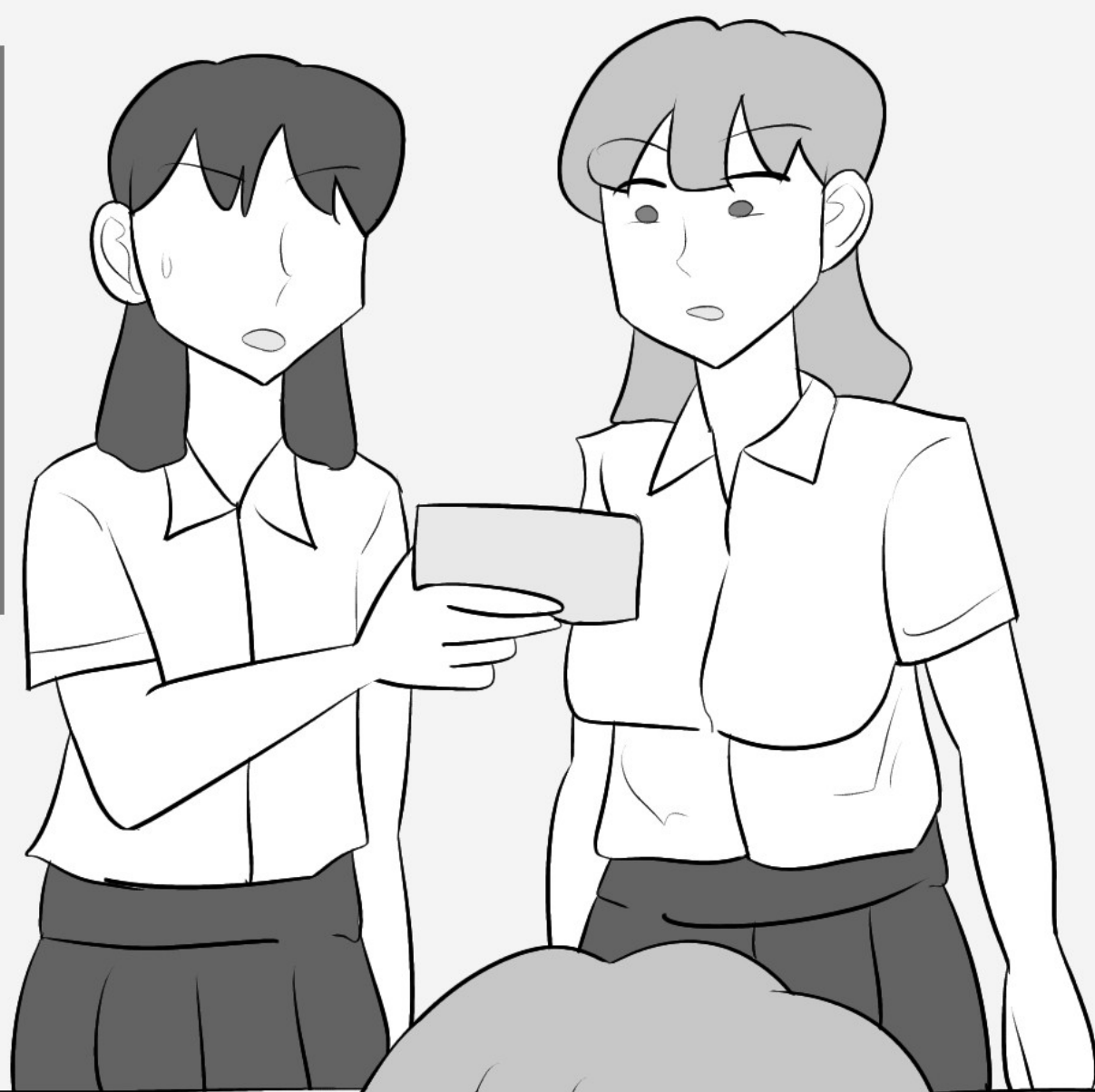


はっ...えっ...



ここ...学校か...
私、また記憶が
飛んでるような...

ねえ、ミユキ、
こんな動画が出回ってるんだけど
これ、あんたじゃないわよね？



えっ…？
何これ…。



え？
もう撮影してるの？
これ。

うん、始まってるよー。

いえーい。
私、今からこのおじさんに
ハメ撮りされちゃいます。

たくさんセックスして
気持ちよくしてもらいます。



あっ…すいっ…
おじさんの手マン、
きもちい〜。

そうかい？よかったよ。
おじさんも頑張るからね。

あー、私、
飛んじやいそう〜。



クラス中にこの動画が
送られてきてて
ミユキじゃないかって
言われてるんだけど、違うよね？
私は絶対に違うよって
言っておいたよ。

いやっ…違うよっ。
私じゃない…よ…。

でも…似てる…。

それじゃあ、
ちんぽ入れちゃうね？。

うん、おじさんのちんぽ、
私のまんこに入れて？。

あつ...すいすい...
おじさんのちんぽいいつ...。
おじさん、セックスうまい...。
もっと激しく突いて...。

おお、そうか。
おじさん、もっと
頑張っちゃおうかな。

はあ

はっ
んっ

はっ
んっ
はっ
んっ

あ
んっ
あ
んっ



それじゃあ、
中に出していいかい？

うん、いいよー。
おじさんの精子、
私のおまんこに
全部出しちゃってー？

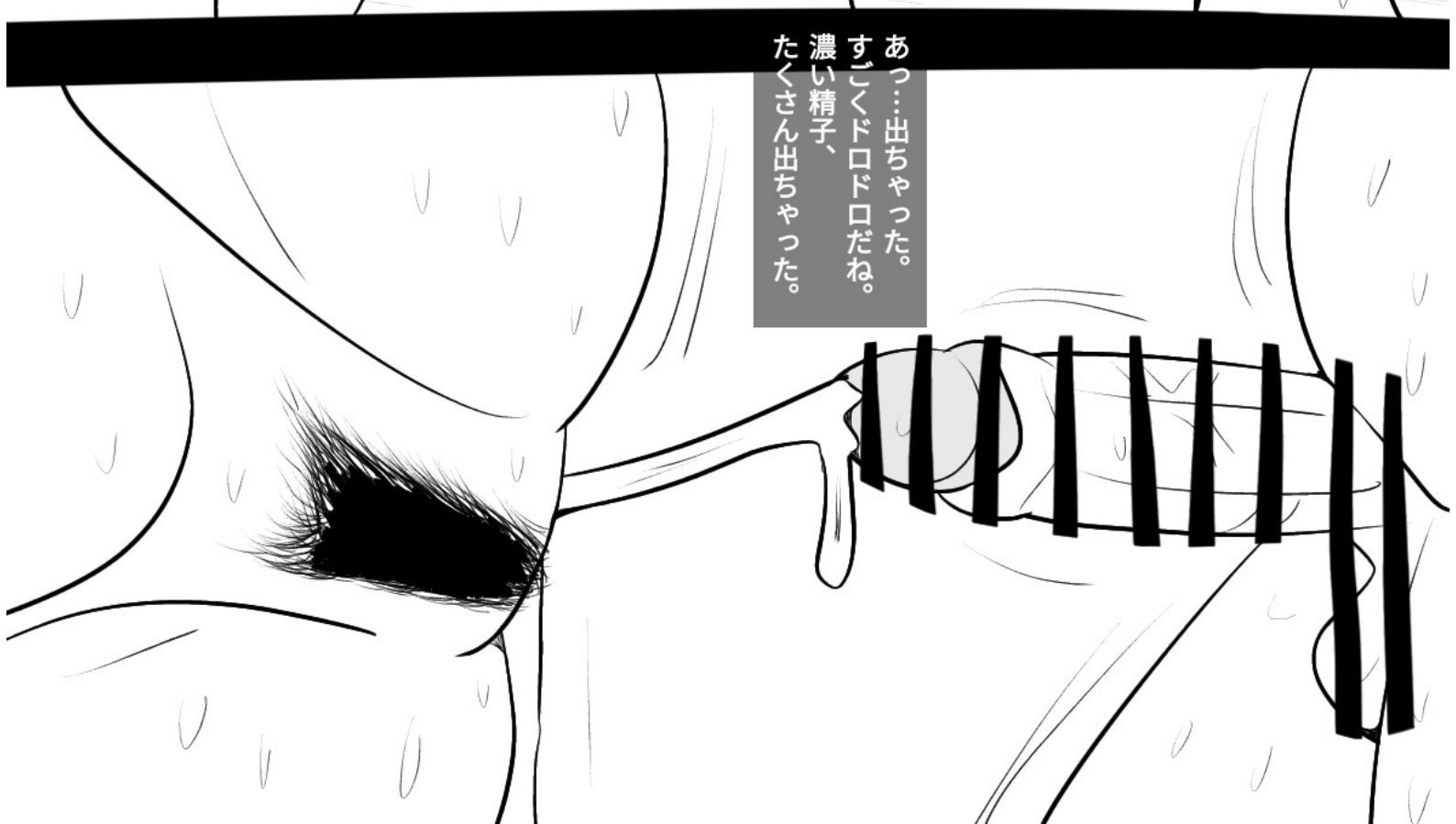
私のこと、
妊娠させてー？
おじさんの赤ちゃん
産ませてー？





ああっ…ああっ…
ミユキちゃんっ…
出ちゃうよっ…。

うん、出して！。
おじさんのキンタマの精子、
全部出してね！。



あっ…出ちゃった。
すぐドロドロだね。
濃い精子、
たくさん出ちゃった。



うそ…私と…同じ名前…？
うそ…。うそ…。
これ、まさか…
本当に…私…？
たしかに…
記憶が飛んでる部分がある…。



そういえば、
なんかお腹のあたり…
ぐちゅぐちゅするというか、
何かがたまってるとような
感じがする…。

ちゅん…



へへへー。
たんまり稼げたぜー。
しかも、女の体でセックスするの
すげー気持ちよかったなー。
今日も、またやるかー。